

# 土質柱状図

No. 1

備考

調査件名	(株)千葉市三角町清掃工場用地 地質調査委託		
調査場所	千葉市三角町 地内		
調査期間	昭和 59 年 7 月 12 日 ~ 昭和 59 年 7 月 14 日		
地盤高	23.86 (M)	地下水位G.L.	-8.70 (M) (自然孔内)
使用機械	ロータリー式	KR 100	孔径 86 mm
現場担当者			

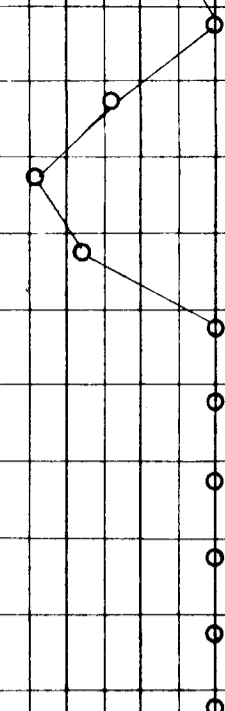
(工事番号 6-58)

標尺	標高 (M)	深度 GL (M)	層厚 (M)	土質記号	土質名	色調	観察記事	相対密度	相対稠度	標準貫入試験										不攪乱試験 採取位置					
										深度 GL (M)	30打 cm 換算数	10cm 毎の打撃回数 回/10cm			打撃数 (回)										
												10	20	30	0	10	20	30	40		50	60	70		
0	23.86	0.00					0.20M 迄、黒灰のロム質表土 全体に均質なロムを主体とする スリット、鉄物混入 含水中																		
1																									
2							3M 付近、若干粘性がある																		
3	20.76	3.10	3.10		ロム		全体に色調不均一 上部、粘着力中位、含水大 3.50M 付近より粘着力強い 酸化鉄分を伴った木片がブロック状 に混入、浮石混入																		
4																									
5	19.06	4.80	1.70		粘土																				
6							全体に同色の粘土分を含む細砂主体 とする、浮石混入、色調不均一、 含水大																		
7	16.86	7.00	2.20		粘土質細砂																				
8							上部、粘着力の細砂で 粘土分少量含む 全体に暗灰色で、粒子均一、 色調不均一																		
9							9M 付近、粘土分少量含む																		
10							10M 付近、若干粘着力不均一																		
11																									
12							12M 付近、粘土分均一 含水中																		
13																									
14																									
15																									
16							16M 付近、粘土分の黄灰の粘土質 を強く含む																		
17							17M 付近、粘土分均一																		
18							18M 付近、粘土分の細砂で 粘土分少量含む 色調不均一																		
19							含水中 腐敗混入																		
20	4.21	19.65	12.65		細砂		乳灰の目混多量混入、含水少																		
21							21M 付近、粘土分の細砂で 目混多量混入、色調不均一 含水少、腐敗混入																		
22	1.66	22.20	2.55		貝殻混り細砂																				
23							上部、酸化鉄分を強く含む 全体に暗灰色の粘土分少量含む 粘土分均一な細砂 主体とする																		
24							23M 付近、若干粘着力不均一 24M 付近、粘土分均一、含水中																		
25							25M 付近、粘土分の砂を強く含む																		
26																									
27																									
28							28M 付近、粘土分の酸化鉄分を 強く含むに混入 含水中																		
29							29M 付近、粘土分均一																		
30							30M 付近、粘土分のシルト分を 強く含むに混入																		

GL - 8.70

31					層田混入	粒
32					粒子色調均一	家
33					33~34M付近、少量の粘土分を不規則に混入	中
34						家
35					36M付近、小礫少量点在する非常に細い細砂となす	粒
36					37M付近に若干粒子不均一	
37					細砂の中砂を混入	
38	13.94	37.80	15.60		層田混入	
39	14.89	38.75	0.95		全体に粒子不均一の中砂を主体となす、含水中、層田混入	
40	16.52	40.38			粒子均一な細砂で、細砂又は黄灰の砂を混入	
41					含水分	
42					層田混入	
43						
44						
45						

31.15	50	22	18	24	8	2
31.37						
32.15	36	8	12	16		
32.45						
33.15	26	6	10	10		
33.45						
34.15	32	7	11	14		
34.45						
35.15	50	22	15	26	9	2
35.37						
36.15	50	15	29	21	5	
36.30						
37.15	50	17	24	26	7	
37.32						
38.15	50	20	19	31		
38.35						
39.15	50	21	16	29	5	1
39.36						
40.15	50	23	16	24	10	3
40.38						



# 土質柱状図

No. 2

備考

調査件名	(仮称) 千葉市三角町清掃工場用地 地質調査委託		
調査場所	千葉市三角町 地内		
調査期間	昭和 59 年 7 月 10 日 ~ 昭和 59 年 7 月 11 日		
地盤高	22.15 (M)	地下水位 G.L.	-5.10 (M) (直器・孔内)
使用機械	KR 100 孔径 66 ㎜		
現場担当者			

(工事番号 - )

標尺	標高 (M)	深度 G.L (M)	層厚 (M)	土質記号	土質名	色調	観察記事	相対密度	相対稠度	標準貫入試験												
										深度 G.L (M)	打撃数	10cm 毎の打撃回数 回 / 10cm			打撃数 (回)							
10	20	30	0	10	20	30	40	50	60													
0	22.15	0.00					上部 草根混入、浮石混入															
1	21.50	0.65	0.65	㊦	一	△	1M 粘着力強い、色調不均質			1.15	6	2	2	2								
2	19.45	2.70	2.05	㊦	粘	土	2M 付迄、粘着力弱い 浮石混入、含水中~小			2.15	3	35	12	13	1							
3				㊦	粘	土	全体に粘土成分多 色調不均質な細砂主体となす 含水分、炭化物、電田混入			3.15	12	31	4	4	4							
4	17.40	4.75	2.05	㊦	粘	土	4M 付迄、固結した酸化鉄分付			4.15	6	25	2	2	2							
5				㊦	粘	土	上部 色調不均質な乳黄灰の細砂 となす 含水分			5.15	19	6	6	7								
6				㊦	粘	土	6M 付迄より 黄灰の細砂となし 粒子均一			6.15	23	6	8	9								
7				㊦	粘	土				7.15	22	6	8	8								
8				㊦	粘	土	8M 付迄、若干粒子不均一			8.15	23	6	8	9								
9				㊦	粘	土	9M 付迄より 粒子均一			9.15	27	8	9	10								
10				㊦	粘	土				10.15	34	9	11	14								
11				㊦	粘	土				11.15	50	29	13	18	19							
12				㊦	粘	土	12M 付迄、茶色の酸化鉄分を 莖層又は互層に挟む 含水分 電田混入			12.15	50	29	15	20	19							
13				㊦	粘	土				13.15	30	8	10	12								
14				㊦	粘	土	粒子均一 含水中~小			14.15	38	9	13	16								
15	7.05	15.10	10.35	㊦	粘	土				15.15	45	16	22	7								
16				㊦	粘	土	全体に見解り多く混入する細砂となす 15.70M 付迄、30%位の透水性 見られる			16.15	50	29	15	16	19							
17				㊦	粘	土	16M 付迄、見解り非常に多く混入する			17.15	50	13	32	18	3							
18				㊦	粘	土	18M 付迄、見解り非常に多く混入する			17.28												
19				㊦	粘	土	含水中~小 電田混入			18.15	33	16	9	8								
20	2.35	19.80	4.70	㊦	粘	土	貝殻混り 細砂乳黄灰			19.15	34	17	11	6								
21				㊦	粘	土	若干粒子不均一			20.15	46	10	15	21								
22				㊦	粘	土	22M 付迄、黒灰の砂を莖層に挟む			21.15	50	24	18	20	12							
23				㊦	粘	土	23M 付迄、粒子色調均一			21.39												
24				㊦	粘	土				22.15	50	22	17	25	8							
25				㊦	粘	土	25M 付迄、淡茶灰の砂をブロック状 に混入 含水分 電田混入			22.37												
26	4.28	26.43		㊦	粘	土				23.15	50	17	23	17								
27				㊦	粘	土				23.32												
28				㊦	粘	土				24.15	50	25	16	20	14							
29				㊦	粘	土				24.40												
				㊦	粘	土				25.15	50	22	16	25	9							
				㊦	粘	土				25.37												
				㊦	粘	土				26.15	50	28	12	19	19							
				㊦	粘	土				26.43												

GL-5.10

# 土質柱状図

No. 3

備考

調査件名	(依頼) 千葉市三角町 清掃工場用地 地質調査委託		
調査場所	千葉市三角町 地内		
調査期間	昭和 59 年 7 月 15 日 ~ 昭和 59 年 7 月 18 日		
地盤高	23.40 (M)	地下水位G.L.	-9.60 (M) (自然孔内)
使用機械	ロータリー式 KR 100	孔径	86 mm
現場担当者			

(工事番号 6-58)

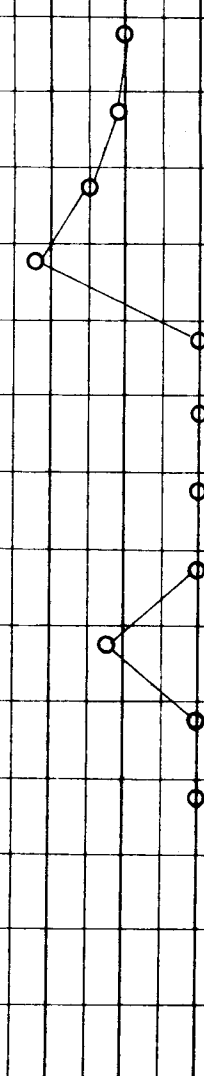
標尺	標高 (M)	深度 GL (M)	層厚 (M)	土質記号	土質名	色調	観察記事	相対密度	相対稠度	標準貫入試験										不攪乱試料採取位置			
										深度 GL (M)	30打 cm 撃換算数	10cm毎の打撃回数 (回)			打撃数 (回)								
										10	20	30	40	50	60	70							
0	23.40	0.00					0.25Mを、隙隙のロム 全体に均質なロム主体																
1					ロム																		
2	21.85	1.55	1.55		ロム		全体に凝灰質のロム主体とし ホソソソして軟かい																
3	20.55	2.85	1.30		ロム		全体に粘着非常に強い 凝灰質の粘土を主体																
4	19.15	4.25	1.40		粘土		全体に粘土分多量 細砂を主体とし 粘着強く 細砂有機物を粒状脈状に混入 含水分多く、ゆるい																
5					粘土		全体的に粘土分多量 細砂を主体とし 含水分中位																
6	17.15	6.25	2.00		粘土		全体的に粘土分多量 細砂を主体とし 含水分中位																
7					粘土																		
8					粘土																		
9					粘土																		
10					粘土																		
11					粘土																		
12					粘土																		
13					粘土																		
14					粘土																		
15					粘土																		
16					粘土																		
17	6.65	16.75	10.50		砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
18	5.60	17.80	1.05		砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
19					砂		19M 全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
20					砂		19M 全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
21	2.10	21.30	3.50		砂		20M 全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
22					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
23	0.65	22.75	1.45		砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
24					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
25					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
26					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
27					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
28					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
29					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
30					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																
31					砂		全体に粘土分多量 中砂を主体とし 含水分中位																

GL-9.60

3.00  
3.86  
4.50  
5.00  
5.85

31						
32						
33						
34						
35						
36	12.55	35.95	13.20	細	砂 質 灰	
37						全体に含水分中位の間 前中2~5%位の小粒少量混入 踏査橋の細砂を5%位一部 補填に挿む
38						
39	15.35	38.75	2.80	中	砂 質 灰	
40						全体に粒子均一 含水中位
41	17.97	41.37		細	砂	
42						
43						
44						
45						

31.15	40	9	13	18		
31.45						
32.15	39	11	12	16		
32.45						
33.15	35	7	11	17		
33.45						
34.15	28	5	8	15		
34.45						
35.15	50			18		
35.41	26	12	20	6		
36.15	50			22		
36.42	27	8	20	7		
37.15	50		11			
37.28	13	39	3			
38.15	50			12		
38.38	23	14	24	3		
39.15	38	11	12	15		
39.45						
40.15	50			19		
40.43	28	13	18	8		
41.15	50			6		
41.37	22	19	25	2		



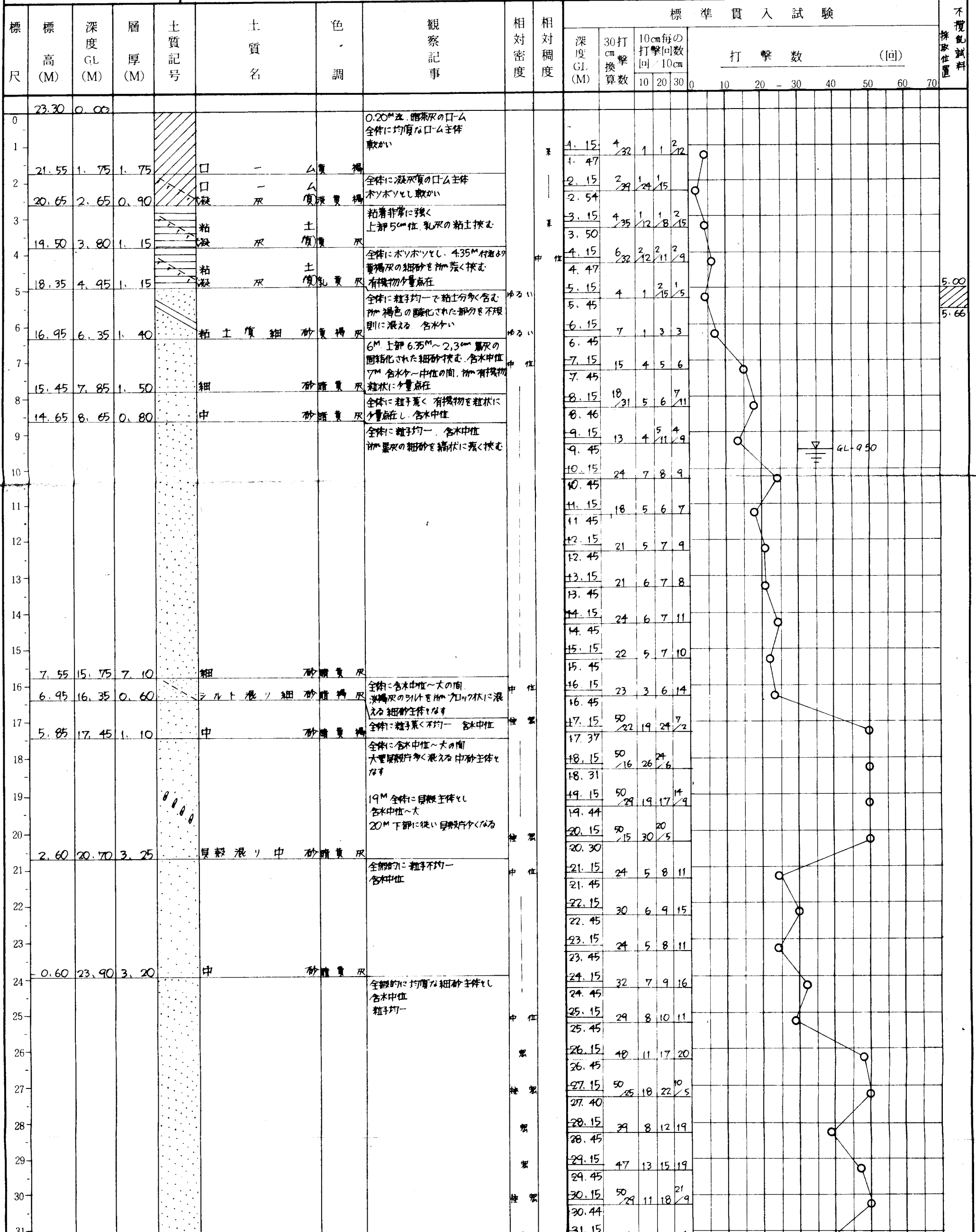
# 土質柱状図

No. 4

備考

調査件名	(名称) 千葉市三角町清掃工場用地 地質調査委託		
調査場所	千葉市三角町 地内		
調査期間	昭和 59 年 7 月 12 日 ~ 昭和 59 年 7 月 14 日		
地盤高	23.30 (M)	地下水位G.L	-9.50 (M) (自然孔内)
使用機械	ロータリー式 KR 100	孔径	86 mm
現場担当者			

(工事番号 6-58)



31									
32									
33	9.80	33.10	9.20	細	砂質灰				
34	11.05	34.35	1.25	シルト混り	細砂質灰	全体に含水中位〜大の間 同色シルトを不規則に混入する細砂 主体とし、中には浮石を精練に 探す			
35	11.55	34.85	0.50	細	砂質灰	全体に含水中位、粒子均一な細砂 主体とする			
36						35M 全体に粒子**細かく 含水中位〜中位の間 36M 粒子**細かく、含水中位			
37						37〜38M 粒径φ2〜5mm位の小礫 少量混入する中砂主体とし 含水中位			
38						39M 同上 40M 全体に中砂主体とし 全体に同色細砂含む			
39						39M 同上 40M 全体に中砂主体とし 全体に同色細砂含む			
40	17.04	40.34		中	砂質灰	39M 混入の細砂を精練に深く探す 含水中位			
41									
42									
43									
44									
45									

31.12	37	8	13	16				
32.15	29	7	10	12				
33.15	26	<sup>6</sup> / <sub>11</sub>	<sup>8</sup> / <sub>9</sub>	12				
34.15	42	9	14	19				
35.15	<sup>50</sup> / <sub>22</sub>	16	<sup>26</sup> / <sub>2</sub>					
36.15	<sup>50</sup> / <sub>18</sub>	20	<sup>30</sup> / <sub>8</sub>					
37.15	<sup>50</sup> / <sub>24</sub>	10	<sup>13</sup> / <sub>27</sub>	4				
38.15	<sup>50</sup> / <sub>17</sub>	24	<sup>26</sup> / <sub>7</sub>					
39.15	<sup>50</sup> / <sub>19</sub>	24	<sup>26</sup> / <sub>9</sub>					
40.15	<sup>50</sup> / <sub>19</sub>	21	<sup>29</sup> / <sub>9</sub>					
40.34								